

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	道水路管理課担当課長	田中 新一
都整-05	実施事業	道路施設管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 道水路管理課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	道路機能を良好に保持するため。
効果	多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	109,800	114,533	当初予算(千円)	125,245
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	101,472	114,532	その他	86,469
	一般財源	8,328	1	一般財源	38,776
	人員配置数	5.6	5.0	人員配置数	6.0
			会計年度任用職員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	43,634	39,969	人件費(千円)	49,021
	総事業費(千円)	153,434	154,502	総事業費(千円)	174,266
	市民1人当りの経費(円)	870	876	市民1人当りの経費(円)	987
			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後とも市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後とも市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 管理施設の増加と老朽化対応、多数の住民要望に対し、経費削減に努めながら予算規模については現状を維持している。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・要望対応の効率化を図るため、委託方法などを検討する。 ・多様な住民要望に応えるため、有効性を高める努力は必要である。 ・要望方法など、市民との協議の方策を検討する必要がある。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日対応の外部委託に関し、委託を受け入れる業者の人員不足。 ・路面復旧監督事務費の徴収に向けたシステム整備を計画するための人材確保。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日対応の外部委託先候補との調整。 ・路面復旧監督事務費の徴収を実施するシステムについて検討した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間・休日対応の外部委託に関する予算措置及び委託先業者の選定。 ・路面復旧監督事務費の徴収に向けたシステム整備。 ・大船駅に設置されているエレベーター等の施設の老朽化に伴う、維持管理または更新費用の増加。 	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	要望処理率	単位	%	指標の傾向	⇒	備考			
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
適切に処理(委託・作業センターや下水道河川課などへ振り分け)が出来ているか。	目標値		635.0	634.0	621.0	574.0	555.0	434.0	
	実績値		635.0	634.0	621.0	574.0	555.0	434.0	
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--